

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 宮ヶ崎高台への生活 道路再考を	復旧から復興へと進むなかで住宅整備関連事業も
	ほとんど充足されたところですが、町内離半島を含
	め、町民は何らかの不足を感じながら日々を過ごし
	ているように感じます。日常の生活環境整備、特に
	各高台住宅地から中心部への買い物の不便さについ
	ては、皆が感じているところではないでしょうか。
	例として宮ヶ崎地区の高台住宅地においては、海
	抜 60m以上、国道入口からは 700～800mの距離が
	あります。宮ヶ崎字川尻、通称「やまこ」と呼ばれ
	ている地区は、震災時には住民避難場所として重要
	な役割を果たしたことは皆様ご存知のとおりです。
	しからば道路幅が狭い道路の見直しを図り、高台か
	ら国道 398 号女川橋付近へ安全に通える通勤、通学
2 三十三観音遊歩道整 備は	を含めた生活道路への位置付けでの再考はいかがで すか。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	三十三観音の帰り道コースの対応策については、
	平成 29 年第 9 回定例会での一般質問において、産
	業振興課長から現在の整備階段は暫定的なものであ るとの答弁がありました。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 有害駆除処分場対策 は万全か	次の点について伺います。
	(1) 具体的にどのようなコースでいつごろ整備しますか。
	(2) 行方不明の石碑の対処と担当部署は。
	(3) 中心部から波切不動までの具体的整備は。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	町内各地で鹿対策事業が展開されており、道路上での事故、罠、海苔網での捕獲と分別されていますが、駆除後の処理はどうしていますか。
	(1) 現状処分場の設定場所と経緯は。
	(2) 処理年間頭数は。
	(3) 町有地、私有地での処分場増設計画は。
	(質問の相手：町長・担当課長)